

2020 年度決算について

2021 年 6 月

あいの風とやま鉄道株式会社

1 決算概要

あいの風とやま鉄道株式会社の 2020 年度当社決算は、新型コロナウイルスの影響による運賃収入の大幅な減少等のため、最終利益額が 2 億 7 百万円の赤字を計上することとなりました。

経常損益では 7 億 5 4 百万円の赤字となり、県経営安定基金やコロナ対策の運営費補助金の交付を受けましたが、最終的には開業後初めての赤字となりました。

2020 年度決算額と過去の推移

(単位：百万円)

区 分	2020 年度	2019 年度	対前年度比
営業収益	4, 6 9 5	5, 7 4 2	△ 1, 0 4 7
営業費	5, 4 8 8	5, 7 8 0	△ 2 9 2
営業損益	△ 7 9 2	△ 3 8	△ 7 5 5
経常損益	△ 7 5 4	△ 1 4 4	△ 6 0 9
税引前利益	△ 2 0 1	4 1	△ 2 4 3
純利益(税引後)	△ 2 0 7	0. 3	△ 2 0 8
総資産額	9, 0 5 8	9, 2 3 9	△ 1 7 9

2 内訳等

(1) 営業収益

営業収益は、運賃収入が大幅に減少（9 億 7 6 百万円減）し、貨物線路使用料や関連事業収入等も減少したため、合計で 1 0 億 4 7 百万円の減少となりました。

貨物線路使用料は貨物車両の通行量の減少により、関連事業収入は自販機・コインロッカーの取扱高の減少により減少となっています。

一方、不動産関係の収入は順調に推移しています。

(2) 営業費用

営業費は、前期から 2 億 9 2 百万円の減少となっています。主に減少した費用は、人件費や各修繕費です。

一方、減価償却費は開業後の追加投資に伴い増加しています。

(3) 営業損益

上記の結果、営業損益は 7 億 9 2 百万円の赤字となり、前期より 7 億 5 5 百万円、赤字額が増加となっております。

(4) 経常損益

営業外収支に計上される受託工事収支差額等の計上により、経常損益は 7 億 5 4 百万円の赤字となっております。

(5) 特別損益

県経営安定基金からは、合計10億10百万円が補助されています。

今年度はそのうち6億85百万円が利用者の利便性向上のための施設整備等に対してのものであり、3億25百万円が運賃抑制・乗継割引・ライナー費用に対しての経費補填のものとなっています。

また、コロナ対策等の費用に対して、97百万円の補助を受けています。

この他、新造車両や富山駅高架化施設整備のための補助金等が交付されています。

工事負担金としては、9億円が算入されています。主なものは次のとおりとなっています。

- ・ 富山駅高架施設 7億32百万円
- ・ 入善～泊間第4北陸街道踏切拡幅工事 2億23百万円

施設整備関係の補助金・工事負担金は、基本的に圧縮処理を行っています。

(6) 純利益

補助金等の収入・圧縮等の処理を行った後の税引前利益は2億1百万円の赤字となっています。

税引後の純利益は2億7百万円の赤字となりました。

(7) 総資産額等

最終赤字の発生に伴う利益損失金の発生と資産投資による現預金の減少等により、総資産額は前期比1億79百万円の減少となり、90億58百万円となっています。